

<問い合わせ状況 2021 年 9 月>



院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5 ～10 件程度の問い合わせに対応しています。9 月の疑義照会は 12 件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認（2 件）
- 1 包化希望
- 追加処方希望
- 他院との重複処方
- 処方忘れ（2 件）
- 規格錠数変更希望
- 処方削除希望（残薬調整）
- 中止薬確認
- その他（3 件）
 - ・流通規制のかかっている薬剤について
 - ・初めての患者の処方箋が FAX されたが誤配ではないか？
 - ・患者家族が病院スタッフと話したいと言っている



薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

9 月はお問い合わせが 4 件ありました。

- モデルナ製ワクチンとインフルエンザワクチンの投与間隔は？
- ニュープロ[®]パッチを半分に切れるか？
- 初めてマドパー[®]を服用後、嘔吐した場合の服薬継続可否について
- 後発品メーカーが変更することについて

薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。9 月は記録したもので 2 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります）。

◎がついたものについては回答を DI ニュース No. 440 に記載しています。

◎腎機能低下患者へのタゾピペ[®]の適正量は？

◎ベクルリー[®]が血管外漏出した場合の対応法は？

